

IFIE PLANET

アイフィープラネット

Ishikawa Foundation for International Exchange

■ Publisher: Ishikawa Foundation for International Exchange RIFARE 3F, 1-5-3, Hon-machi Kanazawa 920-0853, Japan

■ 発行: 財団法人 石川県国際交流協会 〒920-0853 金沢市本町1丁目5番3号 リファーレ3階

TEL 076-262-5931 FAX 076-263-5931 URL <http://www.ifie.or.jp/> E-mail:center@ifie.or.jp

「世界おもしろ雑学塾」を開催!!

2月5日(土)・6日(日)の両日、石川県国際交流センター 4階大研修室において、「世界おもしろ雑学塾」を開催しました。

この講座は、石川県国際交流協会の中国、ロシア、インド、ブラジルそして韓国出身の国際交流員が、親しみやすいテーマをとりあげ母国を紹介するもので、5講座で延べ124名の方に受講していただきました。

今回は、それぞれの講座の様様を皆さまにお伝えします。



中国 王 文斐 テーマ「赤色が彩る中国のお正月」

皆さんは、「旧正月」をご存知ですか？中国では旧暦の1月1日(今年は2月3日)を「春節」と呼んで盛大に祝います。

日本と中国のお正月を比べると、お正月前に大掃除をする、帰省ラッシュ、親戚などに年賀に行く、子どもはお年玉をもらえる、といった共通点もありますが、蒸しパンを作る、爆竹を鳴らす、「福」の字が書いてある赤い紙を逆さまに貼る、などなど日本とは異なる風習も多く、面白いところでは、正月2日に、結婚している男性は、可能な限り奥さんの実家に行かなければならないそうです。

この旧正月を祝う文化は、朝鮮半島や華僑が多いベトナム、タイ、シンガポール、マレーシアといった東南アジアの国々でもみられます。

中国の干支：子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・豚!



「福倒(福がひっくり返る)」



「福到(福が来る)」



ロシア ボロディチ・エフゲーニ テーマ「ロシアの名前、プーチンってどういう意味かな？」

国が変われば名前も変わる、ロシアの講座はロシア人の名前がテーマでした。

日本人の名前は、姓と名の2つで構成されますが、ロシアではこれらにお父さんの名前(父称)が加わります。それに、親に呼ばれる時、友だちに呼ばれる時、恋人に呼ばれる時、叱られる時、褒められる時、…場面ごとに呼び方が変わり、全部で10通りほどあるそうです。面白いですね。

日本でもそうですが、名前にもいろいろ流行があって、ロシアでは大きく、キリスト教が入ってきた頃、ロシア革命後、旧ソ連崩壊後で異なるそうです。

例えば、ロシア革命後の旧ソ連時代には、「革命」「トラクター」、マルクス・エンゲルス・レーニン・スターリンの頭文字を取って「MELS (メルス)」という名前もあったそうですが、学校でいじめられ、その後名前を変えてしまう人もいたそうです…



プーチン
「移動中に生まれた人」の意



ガガーリン
「髪の毛が黒い人」の意



メドヴェージェフ
「熊のように強い人」の意



トルストイ
「太っている人」の意

CONTENTS

「世界おもしろ雑学塾」……………	1	ホストファミリーニュース(No.16) ……	6
国際交流員のコーナー……………	3	JICA ボランティア ……	8
国際交流団体紹介……………	5		



インド ロハン・ラナデ テーマ「インド映画とスラムドッグミリオネア」

皆さんは、インドが映画大国だと知っていましたか？年間約1,200本の映画が製作され、一日当たり約3,000万人が映画を観るそうです。

こうしたインドを象徴する言葉が「ボリウッド」。インドの映画産業の中心地ボンベイとアメリカのハリウッドをくっつけた造語で、映画はふんだんなダンスシーンが特徴です。

映画館の様子は日本とずいぶん違います。例えばこんな風に…

- 1 小さな映画館も頑張っている。(日本ではシネコンが一般的)
- 2 観客の表情が豊か。(泣いたり、笑ったり、指笛を鳴らしたり、演技が下手な俳優を野次ったり…)
- 3 字幕がない(インドは言語が多くて共通の字幕が難しい)
- 4 暑いインドでは、涼みに映画館に行く人も多い(なるほど)
- 5 かつては料金が後払いで金額も特に決まっていなかった。(面白ければ多目に払い、つまらなければちょっとだけ払う)

「スラムドッグミリオネア」はムンバイのスラムに育ち、十分な教育を受けられないまま大人になった男が、クイズ番組に出演、難問を次々と突破し多額の賞金を手にするものの、警察に不正を疑われてしまう…といったストーリーです。

なぜ彼はクイズ番組に挑戦し、難問に答えられたのか？これは映画を観てのお楽しみとして、この映画については、スラムの実態を世界に知らしめた、経済成長が著しい現在のインドでなぜ敢えてスラムを描くのか、など賛否両論があったようですが、インド社会を垣間見るには格好の作品です。そして、最後にしっかりダンスシーンもありますよ！



インドの映画館



ブラジル 原口 リリアン テーマ「食文化で学ぶブラジル」

ブラジル料理は、主に原住民のインディオ、初期開拓者のポルトガル人、労働力として連れてこられたアフリカ人から影響を受け、これらがミックスされてできたそうです。例えば、キャッサバ(イモ類)や魚粉はインディオから、家畜、砂糖、香辛料、ソーセージ、米、ワインなどの酒類はポルトガル人から、トウモロコシ、豆類、ココナッツ油などはアフリカ人からといった風に。そして他の西欧諸国などからの移民の文化も「スパイス」のように効いています。



1つの皿に盛りつけられたブラジル料理

ブラジルは国土の面積が日本の23倍と広く、気候も温暖なので農業が盛んです。人より牛が多く、牛肉の生産と輸出は世界一です。日本では、スーパーで牛肉を買う時グラム単位で買いますが、ブラジルではキログラム単位で買います。逆にグラム単位で買おうとすると、肉屋さんが不思議な顔をするそうです。

料理は、1つのお皿に盛りつけます。日本のように食器がたくさん出てくることはありません。街角での立ち喰い、歩き喰いもごく普通。行儀が悪いと人に言われる心配はありませんよ。



韓国 朴 眞美 テーマ「金さんだらけの韓国～姓からみる韓国の家族～」

韓国の講座も名前に関するもの。

韓国人の姓といえば、金、李、朴、崔…、大体300ほどあるそうですが、日本人が30万以上といわれているのに比べずいぶん少ないと思いませんか？

先の4つの姓だけで人口のほぼ半数です。だから、韓国の学校や職場などでは、「金さん」と呼ぶと返事する人が何人も…だから、下の名前で呼びます。逆に「金さん」と姓で呼ぶのはちょっと高圧的に聞こえるそうで、韓国人に会った時は気を付けましょう。

韓国人の姓は同じものでも、本貫(ボンガン、姓の発祥地)に分かれ、本貫もさらに「派」に分かれます。そして、本家には、族譜(チョッポ)と呼ばれる家系図のような文献があり、子どもが生まれたら族譜に書き込みます。自分の先祖を族譜で遡ることもできます。



族譜(チョッポ)

このように韓国は血縁を重視する文化で、このことは結婚にも影響します。かつては、姓も本貫も同じ場合、法律で結婚が禁じられていました。近年法律が改正され、こうした制約は緩和されましたが、人々の間には、まだ「同姓同本」の結婚に対する根強い抵抗感があります。

先祖を大切にする韓国人は、毎年ご先祖の法事をします。本家が法事を執り行うことが多く、料理もたくさん作ります。「長男の嫁」は韓国でも大忙しなのだそうです。

今回の講座では、ご来場の皆さんから、講義に関すること、それ以外のことも、たくさんご質問をいただき、外国文化に対する関心の高さがうかがえました。

当協会では、今後も国際交流員による国際交流・国際理解事業を実施してまいります。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

国際交流員のコーナー

心に残る仕事をありがとう

いつの間にか5年も経ちました。自分でもびっくりです。

ありきたりの表現ですが、着任した2006年4月のことを昨日のように鮮明に覚えています。自分の机だと案内されたけれど、なんだか落ち着かずキョロキョロしたり、ちゃんと日本語で自己紹介ができるか心の中で何度も練習したりしました。今ではすっかり慣れ、石川県民ぶりを披露しているほどです。

石川は本当に美しく、心温まる場所です。私がお金を離れて、もし国際交流や日本と関係のない仕事をするようになったとしても、きっと石川びいきになってしまうでしょう。お寿司を食べるならブリや甘エビを、カレーはきっと金沢カレーを食べ、日本三名園では兼六園が一番美しいとみんなに言うでしょう。温泉と言えば、加賀温泉郷や和倉温泉を、山と言えば、霊山白山のことを語っちゃうかもしれません。石川県ってどこ？って韓国の人に聞かれたら、親指を立て、加賀と能登、芋掘り藤五郎の話へと熱くなるに違いありません。

ここを離れてもこうして石川は私の心の中にあるはず。そして石川のみなさんの中に、私がやってきた仕事が少しでも残ると嬉しい。そうやって、私たち国際交流員がやったことが少しずつ少しずつみんなの心に残って、それがずっと積み重なっていけば、みんなが一つの「地球人」になれる、そう信じています。それにかかわる仕事が出来たこと、本当にありがとう。みんなにありがとう。



記事：朴 眞美(パク・ジンミ)

大韓民国済州特別自治道済州市出身。国立済州大学で日本語日本文学を専攻。2006年4月より石川県国際交流協会で勤務。



記事：原口・リリアン・ひろみ（前列中央）

ブラジルサン・パウロ州サン・ベルナルド・ド・カンボ市出身。カンピーナス州立大学で化学工学専攻。2002年10月から2004年3月まで愛知県の豊橋技術科学大学のエコロジー工学で研究生としての来日経験がある。2006年4月より石川県国際交流協会で勤務。

講演以外にも、ダンスを披露したり、料理を教えたり、ラジオのパーソナリティを勤めたり、私たちの文化を広めるために様々な仕事をしてきました。ある国際交流員が言うように「私たちは実にエンターテナーだ！」。

一つ一つの出会いや別れ、成功や失敗、笑いや涙で学んだことも同じくたくさんありました。今後もこれらの経験を活かして、日本とブラジルの架け橋になるよう頑張りたいと思います。石川県で過ごした楽しい日々、最高の宝物です。またいつか会いましょう！

離任のあいさつ

オラー！石川県国際交流協会で国際交流員として働いたリリアンです。

5年間、大勢の皆様大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

しかし、あっという間でしたね。

一年目の初めての仕事が2時間の講演でしたが、準備に戸惑っていた私が、「そんな長い時間何をしゃべればいいの？」と先輩に速攻電話で相談したことを、今でもはっきり覚えていますよ。

その後、学校訪問、通訳、ポルトガル語講座、人の前でお話をする仕事がたくさんありましたが、5年経て今でも緊張する私は、まだまだ成長が足りないなと実感しています。

名残を惜しむいしかわ

冬の寒さが去りゆき、わずかですがぬくもりが感じられるこの3月。日本の学生にとっては、3月は学校の恩師や同級生と惜別し、数年間の学校生活に区切りをつける時期です。私にとっても、石川県国際交流協会での一年間の国際交流員任務に別れを言う時です。

一年間というのはそれほど長いとは言えませんが、去年4月に初めてリファールにある協会に来た場面がまるで昨日のここのようです。心細くて不安でした。その次の週から仕事に励み、あっという間に300日あまり、この机で頑張ってきた自分でした。この一年間いったい何をやってきたのか、それを思い出すために、ほとんど毎日ブログを書いています。その毎日のしずくが綴られているブログを最初から振り返ってみたら、過ぎ去った日々が次々と浮かび上がりました。

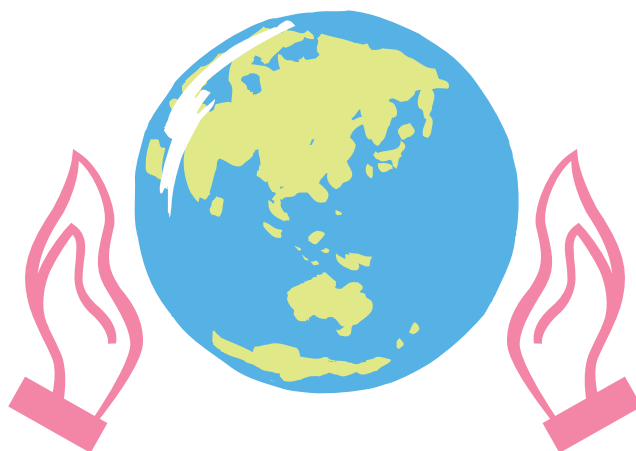
最初の頃は、不慣れで大変なこともありましたが、周りの皆さんのおかげで乗り越えられたこと、友人に招待されて石川県の名勝をめぐったこと、県内の学校訪問をして、日本の生徒さんに中国のことを紹介したこと、外国語講座で簡単な中国語を教えたただけなのに、受講した皆さんに大いに感謝されたことなど、初めて体験したことばかりで、まさに成長の証でした。このコーナーを借りて、石川県の皆さんに改めて御礼を申し上げます。

石川県の皆さんに中国のことを紹介した際、皆さんの頭に中国のことが少しでも残ってほしいとよく言いますが、一方、この四季折々の自然に恵まれた石川のこともすべて私の心に残っています。3月は別れの時期であり、気持ちを一新して、これから歩いていく人生に向けて第一歩を踏み出す時期でもあります。石川県を離れて、淋しく思いますが、ここでの素敵な思い出をちゃんと心におさめて、中国でも皆さんのご親切に恩返しして、いしかわとの付き合いを長く続けていきたいです。

いしかわの皆さん、この一年間、どうもありがとうございました。



記事：王 文斐(オウ ブンヒ)
中国江蘇省徐州市出身。2008年6月北京語言大学大学院日本語言語・文学専攻。2006年9月より2007年8月まで交換留学生として東京都町田市にある桜美林大学に1年間留学。2010年4月より石川県国際交流協会勤務。



国際交流団体紹介

白山市国際交流協会 「雪だるま祭りツアー」

2月4日(金)に白山市国際交流協会による「雪だるま祭りツアー」が開催されました。「雪だるま祭り」とは、1990年から毎年2月に白山市白峰地区で開催されるイベントで、当時の地元の青年団が中心になって始めた催しです。白山市国際交流協会では、3年前から県内在住の外国人を集めて「雪だるま祭り」を見学に行くツアーを実施しています。参加者は、県内在住の外国人で、今年は8カ国24名の留学生やJET青年が参加しました。

雪だるま祭りが実施される白峰地区に向かうバスの中では、ツアーガイドの金丸和弘さんに、車窓からの景色を見ながら白山を案内していただきました。



なめこと堅豆腐の味噌汁を食べている様子

現地に着くとすぐに全員の集合写真を撮り、続いてNPO法人白山しらみね自然学校の事務所に向かいました。バスの中でじっとしていたため、外に出ると雪を投げ合い、雪だるまの写真を撮るなどして留学生たちがなかなか事務所に集まりません。

NPO法人白山しらみね自然学校では、白山ろくや白峰を訪れる人々に情報提供をして白山の魅力を人々に伝える活動をしています。事務所として活用している古い家屋で、囲炉裏とこたつを囲んで白峰地区の特産品であるなめこと堅豆腐を使ったお味噌汁をいただきました。その後、NPO法人で事務局長をされている南さんが、白峰地区の生活の様子を語ってくれました。

参加者みんなで体を温めた後は、待ちに待った自由時間です。「堅豆腐カレー」、「豆乳おからドーナツ」や「岩魚の塩焼き」などの14の出店が並ぶ通りを、かわいらしい雪だるまを写真に収めながら歩いて行きました。雪だるま祭りを開催した当初は、それぞれの家で家族の人数分だけ雪だるまを作っていたそうですが、今ではボランティアも加わりたくさんの雪だるまが作られるそうです。地元の人だけでなく、県内の大学生が祭りの運営を手伝いに来ていました。雪に穴を掘ってその中にろうそくを置いて火を灯すと、ろうそくの光が雪の中でほのかに光って、見ていて温かく感じられました。

いろんな表情をした雪だるまの写真を撮ったり、おみやげにハクサンバナナや豆乳おからドーナツを買っている留学生や、カレーを食べたり熱燗を飲んでいる留学生もいて、それぞれに雪だるま祭りを楽しんでいました。

帰りのバスの中で、「今からクイズをします。クイズに全問正解した人には景品を上げます。」と呼びかけると、それまで眠っていた留学生も起き出しました。「白山の高さは何メートルか?」「白峰村地区の標高は何メートルか?」「白山市の森や山の面積は白山市全体の面積の何パーセントか?」などといった問題が3択式で出題されました。留学生たちは、ガイドの金丸さんやNPOの南さんが話して下さったことを思い出しながら答えていました。

石川県の中でも、金沢市とは違い白山市のことについてはあまり知られていないので、ツアーを通して外国の方に白山の魅力を知ってもらいたい、と白山市の職員で白山市国際交流協会を運営している卯野恵子さんは話していました。

白山市国際交流協会では他にも、「白山スーパー林道」の見学と三方岩岳のトレッキングツアーや白山一里野温泉スキー場へのスキーツアーを実施し、白山の魅力を外国人の方に伝えていきます。



ろうそくを灯した雪だるま

Host Family News

ホストファミリーボランティアとは
国際交流事業のひとつ「石川ジャパニーズ
スタディーズプログラム」に参加する外国
人を受入れていただくボランティアです。

ベトナム料理教室

12月5日(日)中央市場スタジオD0に於いて「ベトナム料理教室」を開催しました。一般県民に加えホストファミリーの総勢35名と一緒に料理教室を楽しみました。金沢大学在学のベトナムからの留学生3名が講師となり、「鶏肉のフォー」・「ベトナム風お好み焼き」・「かぼちゃのぜんざい」の3品を作りました。

鶏肉のフォーは、鶏ガラ、豚の骨、八角、シナモンなどを使い適切なアドバイスを得ながら本格的にスープから作りました。参加者一同、興味津々！まさか、スープから本格的に作ると思っていなかったのが大変に新鮮な感覚でした。日本では、なじみの薄いパクチ、ナンブラなど本格的な食材や調味料を使用し本場の味を楽しんでいました。

最近、ベトナム旅行が日本人には大変人気があり、参加者は留学生にベトナムについての質問をたくさんし、盛んに交流を楽しんでいました。「ベトナムコーヒーは本当に練乳を入れて飲むの?」、「日本でぜんざいというとお餅が入っているのよ」とおいしい料理と一緒に、両国の食文化の違いを楽しんでいるようでした。最後に、留学生がアオザイを取り出すと、参加者一同「わあ〜！素敵!!!」と会場が一気に盛り上がりました。

昨年より、IJSP（石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム）にベトナムからの研修生も新しく加わりました。ベトナム研修生のホストファミリーをされた方も「ベトナムの食文化を再度知ることができうれしい。作り方も知ることができていい勉強になった。」とおっしゃっていました。

また、ホストファミリーの方と一般県民の方とで、ホストファミリーとしての楽しみやご苦労、喜びなどのお話もしていたので、こんな風に、ホストファミリーの輪が広がっていくのかなとうれしく思いました。



作ってみよう！ベトナム料理レシピ紹介します！

ベトナム風お好み焼き 材料 (6～7人分)

・お好み焼き粉 …… 1/2 パック	・にんにく …… 2片
・えび …… 150g	・にんにく …… 適量
・豚ばら肉 …… 150g	・レタス …… 1/2 個
・もやし …… 1袋	
・万能ねぎ …… 1/3 束	
・ターメリック …… 適量	

タレ

・にんじん …… 1/3 本
・赤唐辛子 …… 1本
・レモン …… 1個
・ナンブラ …… 適量
・水 …… 適量
・砂糖 …… 適量

作り方

1. お好み焼き粉を 30 分～1 時間水に浸す。
(粉 100g に対して水 200cc) ここにターメリックを加える。
2. えびの殻と世綿を取り除き、豚肉と合わせて塩、コショウ、にんにくで味付けする。
3. フライパンに少量の油を温め、万能ねぎを加える。
4. 下味をつけたえび、豚肉を炒める。火が通ったら粉を流し込む。
5. もやしを加え、ふたをして 3 分くらい焼く。
6. 半分に折ってお皿に盛り付ける。
7. レタスを食べやすい大きさにちぎり 6 をレタスで巻いて食べる。

タレの作り方

1. ナンプラ、水、砂糖、千切りにしたにんじん、みじん切りにしたにんにく、レモンの絞り汁を混ぜ合わせる。(甘味が目立つタレです。)



和菓子づくり体験

小雪の舞う中、韓国外国語大学 12 名と南米県人会子弟 2 名の研修生は和菓子作りに挑戦しました。学生達は、金沢での文化体験の一つを存分に楽しんだ様子で、それぞれが作った和菓子には彼らが描く「日本のイメージ」がやさしく包まれていました。どの生菓子にも個性が感じられ、おいしそうなものに出来上がりました。

他にもたくさんの文化体験を用意しています。さまざまな日本文化を体験して、日本や金沢の魅力を知ってもらえるよう協会としてこれからも努めてまいります。

今年度も、ホストファミリーの皆様方の温かいご支援・ご協力をありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願ひ致します。



ホームステイに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

(財) 石川県国際交流協会 語学研修班

石川県日本語日本文化研修センター TEL : 076-222-5931

e-mail : homestay@ifie.or.jp



青年海外協力隊をご存知ですか？これは、独立行政法人国際協力機構 JICA が開発途上国の支援のために行っている草の根レベルのボランティアです。石川県から派遣されている青年海外協力隊の活動を紹介します。



長瀬 拓己さん (白山市出身)

職種：柔道 派遣国：インド
ムンバイ柔道協会で、小学生から大人を対象に柔道を教えています。



田邊 千恵さん (白山市出身)

職種：小学校教諭 派遣国：グアテマラ
小学校の先生を対象に国定教科書の算数指導法を紹介しています。



早川 恵子さん (金沢市出身)

職種：村落開発普及員 派遣国：ケニア
地域の農村を回りながら、赤ちゃんの保育健診をおこなっています。



野尻 慎介さん

(福井県出身 / 星稜中学校からの現職参加)

職種：理数科教師 派遣国：エチオピア
現地の教員を対象に理科実験セミナーを開催しています。

東北地方太平洋沖地震に関して

3月11日に発生した『東北地方太平洋沖地震』でお亡くなりになられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。また、被災された皆様、ご家族や知人が被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

今なお大変過酷な環境の中での生活を余儀なくされておられる方々が、一刻も早く平常な生活に回復されるとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願ってやみません。

石川県では、被災地の方々を支援するため、義援金を募っています。

受取口座名義 東北地方太平洋沖地震石川県募金

振込先銀行名 北國銀行県庁支店

口座番号 普通預金 223307

石川県国際交流協会のホームページに「外国人のための防災&災害時対応マニュアル」を掲載しました。日本語のほか英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・ロシア語でも閲覧できます。各言語トップページの青いバナーからお入りください。

協会ホームページ <http://www.ifie.or.jp/index.php>